



# 地域支援部だより

No.4 地域支援部

平成27年11月30日 発行

## 開放講座Ⅲ「子ども主体の授業づくり」

11月5日、本校視聴覚室を会場に、開放講座Ⅲを実施しました。講師に、岩手大学教育学部特別支援教育科教授、名古屋恒彦さんをお招きし、「子ども主体の授業づくり」についての講話をいただきました。今回の開放講座は教職員が対象でしたが、講話の概要について、地域支援だよりを通して紹介します。

### 1 子どもの『ニーズ』に合った『実生活』を用意する

「させられる生活」  
「してもらう生活」

子どもから主体性を奪ってしまいます。



「する生活」

子どものあるべき場としての生活そのものを、教育の内容として位置づける！

その条件として、

生活年齢に合っていること！

将来の生活に自然につながっていくこと！



### 2 子どもが自分で『できる状況』をつくりだす



「できる状況」

- ・ 精一杯できる状況
- ・ 満足感や達成感もてる状況

できる状況の中で、

子どもが「できる子」になる。



できない子はいない！

できる状況づくりが足りないから、「できない状況に置かれている子」になってしまっている。



講座の様子です。



# 特別支援教育研修会Ⅰ「思春期の性教育について」

10月8日（木）に、元鶴谷特別支援学校養護教諭の鈴木良子さんをお招きし、教職員を対象に、性教育についての講話をいただきました。「～性は生きるエネルギー、発達の要、そして人権～」というテーマのもと、性教育の意義や具体的な教材・教具を用いた実践例を数多く学ぶことができました。講話の概要を紹介します。

## ○問題行動は発達要求の表れ○（心と体の主人公に）

体の急激な変化が気になって仕方がない思春期の子どもたち。それがやむにやまれぬ行動として出てきます。「問題行動」ではなく、体の変化への興味・関心・疑問・不安による発達要求と捉え、「自分の体を知るチャンス」としていくことが大切です。「ダメ」「ダメ」と否定的に見ずに、1人の人間として共感をもって肯定的に捉えていきましょう。

## ○人権に関わる大切な学習○（自分を好きになる）

性について知ることは、人間の成り立ち（受精、胎児、出産）、人間の成長、男・女、恋愛、性交、結婚、妊娠、避妊、性被害・加害、デート等広範囲にわたります。夢精をおねしょと思っていたり、アダルトビデオが教科書になっていたり、女性が自分の性器の名前を知らなかったり、障害があることで劣等感をもちやすい彼らにこそ、自尊感情を高める性教育が必要なのです。子どもも青年も自分のからだを知ることが大好きです。

## ○障害が重度の子にも性教育を○（性＝生）

体の快と心の快「気持ちいい」の体験を重ねることが性の学びにつながっていきます。足湯やヒーリングミュージック、マッサージなど「気持ちいいね～」という言葉添えて行うことで、「気持ちいいこと」を体で覚えていきます。

※今後、保護者の方を対象とした性教育の研修会も検討していきたいと思えます。

# 特別支援教育研修会Ⅱ「問題行動への対応について」

10月9日、本校の視聴覚室を会場に、教職員対象の特別支援教育研修会Ⅱを実施しました。講座には本校の職員と地域の施設職員合わせて約50名が参加しました。講師にコロロ発達療育センター杉並教室の小片亜衣さんをお招きし、「自閉症・発達障害 問題行動の理解と対応」の演題でお話いただきました。発達障害の行動の特徴から始まり、問題行動の発生のメカニズムやその行動を減らすための手立てなど、実践を交えて説明をいただきました。（図1）実践は3つ行いました。1. 座っているところから立たせる、2. 離席を止める、3. 常同行動を減らす、の3点で、どの支援方法も児童生徒のストレスにならないように行います。講話の中では、コロロ発達療育センターで実際に行っている歩行・行動トレーニング（動・静）やリズム体操、集会（着席注視）、学習などの動画を見ながらのお話で、すぐにでも実践していきたい内容で勉強になりました。

## （図1）問題行動を減らすために・・・

- 問題行動が起こる状況の特定 場所・人・時＝場面 ←どれか一つ変えるとよい
- ◎環境設定 場所を変える・人を変える・時を変える 例) 歩行ルート、対応者、パターンを変える
- 予兆状態にならない脳を作る、体を作る ←覚醒レベル（意識レベル）の持続、予兆状態をなるべく減らす・覚醒（意識）レベルを保つ＝目的行動を持続させること
- 直前刺激の調整 タイミング・強さ・コミュニケーション方法 →少し低めの声で指示が通りやすい



今回の地域支援だよりでは、教職員対象の3つの研修について紹介しました。詳しい内容を知りたいという方がいましたら、担任を通して地域支援部に教えて下さい。資料を差し上げます。よろしくお願ひします。